

安保反対で座り込み 福井駅東口「強行採決 許さぬ」



安全保障関連法案の廃案を訴え、座り込み行動を行う市民団体のメンバーら＝14日、福井市のJR福井駅東口広場(杉本拓磨撮影)

県内の市民団体などで行く「ストップ！安保法制、県民集会実行委員会」は14日、安全保障関連法案の廃案を目標とした「座り込み行動」を福井市のJR福井駅東口広場で始めた。与党が週内にも参院での採決を採る中、約50人が

参加して「強行採決を許さない」などと訴えた。
(5面に関連記事)
同実行委は県平和センター、9条の会・ふくい、県労連など約10団体で構成。座り込み行動は同日から18日まで午後3～6時に設定した。参

院で法案が可決された場合は緊急の抗議行動に切り替える。

実行委事務局の宮下正一・県平和センター事務局長が「全国で反対運動が盛り上がりつつある。安保法制の改悪に反対し、強行採決させない思いを県民に届けて、さらに県民の声を国に届けていきたい」とあいさつした。

参加者は次々にハンドマイクを持ち「戦争法案を廃案に追い込むまで、力を合わせて頑張ろう」などと強調。法案反対のプラカードを持ってベンチやいすに座り、通行人らにアピールした。

また、県庁前で原発反対を連日訴えている石森修一郎さん(68)＝坂井市＝らは10日午前6時から、法案の廃案を願い、断食行動を行っている。

(青木伸方)

若者らはデモ行進

福井・中心部

国会で審議中の安全保障関連法案に反対するデモ行進が13日、福井市中心部で行われた。若者や家族連れなど約50人が参加し、「安保法制今すぐ廃案」などとシュプレヒコールを上げながら練り歩いた。

法案を問題視して学習会などを開いてきた若者グループ「ワップ」が主催。メンバーの日本民主青年同盟県委員長(金元友さん(32))は「若い人が参加しやすい活動をした」と知人や会員制交流サイ

9/15 福井

ト(SNS)を通じ、特に若者への参加を呼び掛けた。一行は戦争法案ストップ



シュプレヒコールを上げながら行進する参加者ら＝13日、福井市のフェニックス通り

などと書かれたプラカードや横断幕を手に、市中央公園を出発。同市中央1丁目の西武福井店前までの約1・5キロを、タンバリンなどでリズムを取りながら「民主主義守れ」などと訴え行進した。参院特別委員会が早ければ16日にも法案が採決される見通しとなる中、参加者の一人は「与党は何でもありになっている。反対の声がある中でこのままでもいいのか」と批判していた。

(桂知之)